

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第11回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

・活動報告会の開催結果について

(2) 協議事項（公開）

・次期委員への申し送り事項について

3 開催日時

令和6年3月25日（月）午後6時30分から午後6時59分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木雄司、梅川康輝、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、

中島 功（副会長）、藤本孝昭（会長）、古川 仁（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

・会議録の確認：古川 仁委員に依頼

次第 2 議題「(1) 報告事項」「活動報告会の開催結果について」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・活動報告会の結果報告の前に、2月26日付け提出の意見書「戸野目小学校における下校時の路線バス待ち時間の解消について」の回答について報告

【藤本会長】

ただ今の報告について、質問を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に移る。

【山崎主事】

- ・資料1に基づき説明

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問が無いようなので、以上で次第 2 議題「(1) 報告事項」「活動報告会の開催結果について」を終了する。

次に、次第 2 議題「(2) 協議事項」「次期委員への申し送り事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料2に基づき説明

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問が無いようなので、各項目について協議する。『(1) 自主的審議事項』について、これまでの協議経過以外で、特に申し送る事項はあるか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に『(2) 地域活性化の方向性』について、申し送る事項はあるか。

【梅川委員】

本件とは直接関係しないが、上越市議会議員選挙では、津有区から出馬される方の話

題が出ており、地域活性化にも期待できると思う。

【藤本会長】

他に意見はあるか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に『(3)その他の活動内容』について、申し送る事項はあるか。

【千代委員】

地域協議会委員が他の協議会を傍聴する。全員ではなく、少数でもよい。他の協議会の活動を参考にするため、他の協議会委員との情報交換や、対話をする場が必要ではないか。

上越市に地域自治区が 28 あるが、幾つか統合した方がいいと考える。それを次期委員に課題として協議していただくことを希望する。

【藤本会長】

次期委員の活動について、他の地域協議会の傍聴や他の協議会委員と話し合う機会を作ることと、自治区の統合についての意見が出た。自治区統合については市の考え方で決定するが、そのために意見を発信することは可能なので、意見が通るかは別の問題として、統合についての議論を提案するということでよいか。

【千代委員】

そのとおり。

【藤本会長】

他に意見はあるか。

【相馬委員】

今回、バスツアーを開催したが、一般の方の参加が少なかった。集客力を上げることを次期委員には考えてもらい、またバスツアーを開催してもらいたい。

【藤本会長】

私たちが参加して非常に有意義であったので、新しい地域協議会委員の研修としてバスツアーを行うのも一つの方法。それを実行するかは次期委員が決めることである。

他に意見はあるか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第 2 議題「(2) 協議事項」「次期委員への申し送り事

項について」を終了する。

次に、次第3 その他「(1) その他」に入る。委員全員から4年間を振り返り感想をいただく。

【青木委員】

地域協議会委員になり、今まであまり経験できなかったことができたので、良かったと思う。

【梅川委員】

前島密のパンフレットの作成が大変勉強になった。感謝申し上げる。

【大滝委員】

地域協議会委員になったおかげで、今まで知らなかった地域の歴史を学べた。

【千代委員】

地域協議会でいろいろな発案ができて、パンフレットが完成し、充実感があつた。それには地域の皆さんの努力と協力があったからだと思う。私たちの行動は、小さなものかもしれないが、パンフレットの作成やバスツアー、スタンプラリーが実施できたことは、4年間の活動を通して感謝する。次期委員が活発に活躍することを願っている。

【相馬委員】

津有区に住んでいるが、バスツアーで初めて保阪邸の中を見学したほか、あまり行く機会のない上雲寺の方面に行くことができ、楽しかった。

【古川 仁 委員】

4年間の活動で、パンフレットやアンケート結果を形として残せて本当に良かった。

【中島副会長】

今後、津有地区を盛り上げていくことに不安だ。

【藤本会長】

地域協議会委員になる前は津有区の方々をほとんど知らず、町内会の中でもほんの数人しか知らないという状態だったのが、この4年間を通して、協議会委員の皆様方と胸襟を開いて好きなことを言えたことがとてもいい財産になった。その他、保阪邸の方や前島記念館の館長とも交流ができたことは、今まででは考えられないことであつた。後半には雄志中学校の学校運営協議会委員になり、学校とも繋がりができ、私自身も視野が広がり充実した4年間であつた。

協議会委員になったときに、当時のセンター長から津有区だけが意見書の提出が無い

と言われたが、今回、意見書を提出し、回答をいただいたので、協議会委員として成すべき仕事は全部することができて良かったと思っている。協力いただいた委員の皆様、事務局に深く御礼申し上げます。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。